

学校コード F127310108045

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

届出

注2

大阪電気通信大学

大学院

総合情報学研究科 総合情報学専攻(D)

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人大阪電気通信大学
令和4年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 大学事務局 学事部

職名・氏名 カクジフチヨウ 学事部長 ハヤノ 早野 ヒデキ 秀樹

電話番号 072-813-7586

（夜間） 072-824-1140

e-mail gakuji@osakac.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

総合情報学研究科

<総合情報学専攻(D)>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	14
6. 附帯事項等に対する履行状況等	21
7. その他全般的事項	22

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人大阪電気通信大学

(2) 大学名

大阪電気通信大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒575-0063

大阪府四條畷市清滝1130-70

(〒572-8530 大阪府寝屋川市初町18番8号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオイシ トシミツ) 大石 利光 (現職就任 平成30年3月)		
学長	(オオイシ トシミツ) 大石 利光 (現職就任 平成28年4月)	(シオタ クニナリ) 塩田 邦成 (現職就任 令和4年4月)	任期満了(4)
学部長			
研究科長	(ジョウゼン ツネオ) 上善 恒雄 (現職就任 平成28年4月)	(ノボリオ ヒロシ) 登尾 啓史 (現職就任 令和2年4月)	任期満了(2)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和3年度に報告済の内容 → (3)

令和4年度に報告する内容 → (4)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください(作成方法は、事務連絡「令和4年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」を確認してください)。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和4年度までの5年間)ですが、完成年度を越えている場合は別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
総合情報学研究科 総合情報学専攻 博士(情報学)	工学関係	3年	5人	- -年次 人	15人		

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	5人 (-) [-]	() []	5人 (-) [-]	() []	5人 (-) [-]	() []	5人 (-) [-]	() []	0.26倍	0.26倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []	1 (-) [-]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.40		0.20		0.20						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
2年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [-] (-)	- [-] (-)	
4年次			/		/		/		/		/
計	[] ()	[] ()									

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	人	人	平成30年度	人	人	
令和元年度	人	人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
令和2年度	2人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
令和3年度	3人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	4人	0人	平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<総合情報学研究科 総合情報学専攻 博士後期課程>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合情報学専攻	総合情報学特殊研究	1～3通	12			7						
	小計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	合計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
・必修科目…12単位												
<p>本学大学院に5年(博士前期課程を修了した者)にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本学大学院に3年(博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者)にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は、学校教育法施行規則第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、本学大学院に入学した場合の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p> <p>ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p>												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合情報学専攻	総合情報学特殊研究	1～3通	12			7						
	小計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
	合計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
卒業要件及び履修方法												
・必修科目…12単位												
<p>本学大学院に5年(博士前期課程を修了した者)にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本学大学院に3年(博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者)にあつては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。</p> <p>修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は、学校教育法施行規則第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、本学大学院に入学した場合の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。</p> <p>ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。</p>												

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合情報学専攻	総合情報学特殊研究	1～3通	12			7						
	小計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
合計(1科目)			-	12	0	0	7	0	0	0	0	0

卒業要件及び履修方法

・必修科目…12単位

本学大学院に5年(博士前期課程を修了した者)にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。
ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本学大学院に3年(博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者)にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は、学校教育法施行規則第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、本学大学院に入学した場合の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合情報学専攻	総合情報学特殊研究	1～3通	12			7						
	小計(1科目)	-	12	0	0	7	0	0	0	0	0	0
合計(1科目)			-	12	0	0	7	0	0	0	0	0

卒業要件及び履修方法

・必修科目…12単位

本学大学院に5年(博士前期課程を修了した者)にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格すること。
ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者については、本学大学院に3年(博士前期課程に2年以上在学し、当該課程を修了した者)にあっては、当該課程における2年の在学期間を含む。)以上在学すれば足りるものとする。

修士の学位若しくは専門職学位を有する者又は、学校教育法施行規則第156条の規定により大学院への入学資格に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者が、本学大学院に入学した場合の修了要件は、博士後期課程に3年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、博士の学位論文の審査及び最終試験に合格することとする。
ただし、優れた研究業績を上げた者については、1年以上在学すれば足りるものとする。

- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(令和2年度開設であれば令和元年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

特になし。

【令和3年度】

特になし。

【令和4年度】

特になし。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容 (配当年度の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など) を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度 (令和2年度開設であれば令和元年度) の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	科目	科目	1 科目	1 科目 []	科目 []	科目 []	1 科目 []	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{1} = \boxed{} 0\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	121,022.77 122,201.41 ㎡	0.00㎡	0.00㎡	121,022.77 122,201.41 ㎡			
	運動場用地	170,309.72㎡	0.00㎡	0.00㎡	170,309.72㎡			
	小 計	292,511.13㎡	0.00㎡	0.00㎡	292,511.13㎡	2021年10月にて駅前校地を閉鎖したため(4)		
	そ の 他	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡	0.00㎡			
合 計	291,332.49 292,511.13 ㎡	0.00㎡	0.00㎡	291,332.49 292,511.13 ㎡				
(2) 校 舎	専 用	91,679.32 87,884.19	0.00㎡	0.00㎡	91,679.32 87,884.19	2020年5月1日現在建物新築・解体を進行中の状態であること、教室の使用・目的変更のため(2)		
	(83,115.07 87,820.07 87,884.19 87,820.07 ㎡)	(0.00㎡)	(0.00㎡)	(83,115.07 87,820.07 87,884.19 87,820.07 ㎡)		2022年5月1日現在建物新築・解体を進行中の状態であること、2021年10月にて駅前校地を閉鎖したため(4)		
(3) 教 室 等	講 義 室	57 71 72 69室	8 9室	137 109 120室	11室	0室	2020年5月1日現在建物新築・解体を進行中の状態であるため(2) 教室の使用・目的変更のため(3) 2022年5月1日現在建物新築・解体を進行中の状態であること、2021年10月にて駅前校地を閉鎖したため(4)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	総合情報学研究科 総合情報学専攻		室 数	31 30	室	教員採用のため(4)	
	新設学部等の名称			室 数				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	工学専攻(D)	285,982 [59,283] 281,998 [57,996] 284,913 [59,022] (286,187 [59,616]) (285,982 [59,283])	3,710 [3,112] 4,421 [3,852] 4,416 [3,834] (3,713 [3,097]) (3,705 [3,107])	2,142 [2,091] 2,962 [2,851] 2,926 [2,831] (2,098 [2,067]) (2,137 [2,086])	7,680 7,656 7,676 (7,736) (7,676)	7,674 (7,631)	45 (45)	学生の修学状況に応じ、図書数を調整したため。(2) 複本の除籍、及び学生の修学状況に応じて学術雑誌の種類を増やした(3) 複本の除籍、及び学生の修学状況に応じて学術雑誌の種類を増やした(4)
	計	285,982 [59,283] 281,998 [57,996] 284,913 [59,022] (286,187 [59,616]) (285,982 [59,283])	3,710 [3,112] 4,421 [3,852] 4,416 [3,834] (3,713 [3,097]) (3,705 [3,107])	2,142 [2,091] 2,962 [2,851] 2,926 [2,831] (2,098 [2,067]) (2,137 [2,086])	7,680 7,656 7,676 (7,736) (7,676)	7,674 (7,631)	45 (45)	
(6) 図 書 館	面 積	2,957.06 3,099.64 ㎡	閱 覧 座 席 数	426	収 納 可 能 冊 数	337,750 342,275 335,800	学生の修学状況に応じ、図書数を調整したため。(2) 2021年10月にて駅前校地を閉鎖したため(4)	
	面 積	3,343.1 3,083.10 3,253.10 ㎡	テニスコート5面	トレーニングルーム			2020年5月1日現在体育館新築・解体を進行中の状態であるため(2) 2020年5月1日現在体育館新築・解体を進行中の状態であるため(2) 2022年5月1日現在建物新築したため(4)	
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	教員1人当り研究費等	177千円	293 185 千	図書購入費	1,100千円	1,107千円	1,075 1,114 千	完成年度予算額に 応じて変更(4)
	共 同 研 究 費 等	0千円	0千円	設備購入費	1,820千円	1,832千円	899 1,846 千	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,150千円	第2年次 1,050千円	第3年次 1,050千円	第4年次 千円	第5年次 千円	第6年次 千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要	手数料、補助金、受取利息・配当金						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和4年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(4)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	大阪電気通信大学						学生募集停止学科数	2	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号					
	年	人	年次	人		倍	倍	年度	年度	年度	
工学部						1.12	1.15				大阪府寝屋川市初町18番8号
電気電子工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.12	1.13		昭和36年度		
電子機械工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.15	1.20		昭和40年度		
機械工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.10	1.13		昭和50年度		
基礎理工学科	4	60	-	240	学士(工学)	1.16	1.20		平成19年度		
環境科学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.08	1.13		平成23年度		
建築学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.14	1.11		平成30年度		
情報通信工学部						1.11	1.12				大阪府寝屋川市初町18番8号
情報工学科	4	160	-	640	学士(情報工学)	1.10	1.13		平成17年度		
通信工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.14	1.11		平成17年度		
医療福祉工学部/医療健康科学部						1.10	1.12				大阪府四條畷市清滝1130-70
医療福祉工学科/医療科学科	4	80	3年次5	330	学士(工学)	1.07	1.13		平成16年度		※令和2年度学部名称変更
理学療法学科	4	40	-	160	学士(理学療法)	1.12	1.25		平成18年度		※令和2年度学科名称変更
健康スポーツ科学科	4	70	3年次5	290	学士(健康科学)	1.13	1.02		平成20年度		
総合情報学部						1.12	1.16				大阪府四條畷市清滝1130-70
デジタルゲーム学科	4	-	-	-	学士(情報学)	-	-		平成15年度		※平成30年度より学生募集停止
デジタルゲーム学科	4	140	3年次5	570	学士(情報学)	1.07	1.09		平成30年度		
ゲーム&メディア学科	4	110	-	440	学士(情報学)	1.12	1.20		平成30年度		
情報学科	4	90	-	360	学士(情報学)	1.18	1.23		平成17年度		
金融経済学部						-	-				大阪府寝屋川市早子町12-16
資産運用学科	4	-	-	-	学士(ファイナンス)	-	-		平成21年度		※平成30年度より学生募集停止
大学全体	-	1250	15	5030	-	-	-		-		

大学の名称	大阪電気通信大学 大学院						学生募集停止学科数	12	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和4年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
工学研究科	年	人	年次人	人		倍	倍			大阪府豊川市初町18番8号	
博士後期課程											
先端理工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-		平成4年度		※令和2年度より学生募集停止
電子通信工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-		平成18年度		※令和2年度より学生募集停止
制御機械工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-		平成4年度		※令和2年度より学生募集停止
情報工学専攻	3	-	-	-	博士(工学)	-	-		平成4年度		※令和2年度より学生募集停止
工学専攻	3	12	-	36	博士(工学)	0.08	0.08		令和2年度		
工学研究科						0.77	0.90			大阪府豊川市初町18番8号	
博士前期課程											
先端理工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	-		平成2年度		※令和2年度より学生募集停止
電子通信工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	-		平成18年度		※令和2年度より学生募集停止
制御機械工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	-		平成2年度		※令和2年度より学生募集停止
情報工学専攻	2	-	-	-	修士(工学)	-	-		平成2年度		※令和2年度より学生募集停止
工学専攻	2	70	-	140	修士(工学)	0.77	0.90		令和2年度		
医療福祉学研究科						0.26	0.40			大阪府四條畷市清滝1130-70	
博士後期課程											
医療福祉学専攻	3	5	-	15	博士(工学)	0.26	0.40		平成19年度		
医療福祉学研究科						0.70	0.70			大阪府四條畷市清滝1130-70	
博士前期課程											
医療福祉学専攻	2	10	-	20	修士(工学)	0.70	0.70		平成17年度		
総合情報学研究科						0.26	0.20			大阪府四條畷市清滝1130-70	
博士後期課程											
コンピュータサイエンス専攻	3	-	-	-	博士(情報学)	-	-		平成19年度		※令和2年度より学生募集停止
総合情報学専攻	3	5	-	15	博士(情報学)	0.26	0.20		令和2年度		
総合情報学研究科						0.68	0.53			大阪府四條畷市清滝1130-70	
博士前期課程											
デジタルアート・アニメーション学専攻	2	-	-	-	修士(情報学)	-	-		平成16年度		※令和2年度より学生募集停止
デジタルゲーム学専攻	2	-	-	-	修士(情報学)	-	-		平成17年度		※令和2年度より学生募集停止
コンピュータサイエンス専攻	2	-	-	-	修士(情報学)	-	-		平成18年度		※令和2年度より学生募集停止
総合情報学専攻	2	30	-	60	修士(情報学)	0.68	0.53		令和2年度		
大学全体	-	132	-	286	-	-	-		-	-	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学、大学院、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください(専攻科及び別科を除く)。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和4年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (令和元年6月)	留意事項なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<総合情報学研究科 総合情報学専攻 (D) >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
① 修了要件単位数 12単位 必修科目12単位	① 変更なし
② 施設・設備 特になし	② 変更なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD・SD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学における教育力の向上を目的として、教育開発推進センターを設置している。 (添付資料① 教育開発推進センター規則) (添付資料② 教育開発推進センターミッションステートメント)</p> <p>b 委員会の開催状況 (教員の参加状況含む)</p> <p>教育開発推進センター長と教育開発推進センター教員、教育開発推進室職員が議論し、柔軟かつ迅速に動いている。 (2018年度後期よりは原則月2回)</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>教員の資質の維持向上のためのFD活動の推進など</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学的FD (faculty development)、SD (staff development) 活動の実施、推進 ・ 部局ごとのFD、SD活動の支援 ・ 教育改善に関わる先進事例情報の収集と学内への紹介、教育改善に関する研究 ・ 教育研究活動データベースの維持 ・ 教育改善のための各種競争的資金についての情報収集と学内への情報提供・申請手続きの支援・事務 ・ 情報公開と点検評価 <p>b 実施方法</p> <p>運営委員会の下に目的毎に作業委員会(WG)をおき、WGは運営委員会で決定されたミッションステートメントにしたがって、その任務を遂行し、活動状況について運営委員会に報告する形で実施する。</p>

c 開催状況（教員の参加状況含む）

2021年 5月13日（木） 15：30～16：30 Google Meetによるオンライン
” 学内教育実践事例報告① 2020年度大阪電気通信大学D予算事業「OECU教育モデル開発」結果について”
報告者：海老原 聡 氏（電気電子工学科 教授）
武田 ひとみ 氏（健康スポーツ科学科 教授）
参加者：139名

2021年 6月10日（木） 15：30～17：10 Google Meetによるオンライン
” 入学前教育と入学後の修学支援②”
登壇者：斉藤 幸一 氏（教育開発推進センター 特任講師）
松村 一徳 氏（人間科学教育研究センター 講師）
安達 未来 氏（人間科学教育研究センター 准教授）
萬代 武史 氏（数理科学教育研究センター 教授）
立本 秀洋 氏（英語教育研究センター 講師）
参加者：145名

2021年 7月 8日（木） 15：30～16：30 Google Meetによるオンライン
” 安全第一の職場環境を目指して～防火防災を考える1”
登壇者：千松 哲也 氏（防火・防災管理者 事務局長）
楳山 重文 氏（安全管理室）
参加者：151名

2021年 8月26日（木） 15：30～16：40 Google Meetによるオンライン
” 安全第一の職場環境を目指して～防火防災を考える2”
登壇者：深見 隆 氏（寝屋川消防署予防課 課長補佐）
楳山 重文 氏（安全管理室）
参加者：149名

2021年 9月16日（木） 15：30～16：40 Google Meetによるオンライン
” 体験の場と社会人基礎力”
登壇者：鈴木 晃子 氏（就職部 寝屋川就職課）
斉藤 幸一 氏（教育開発推進センター 特任講師）
石井 一也 氏（学務部 学務課）
参加者：143名

2021年11月26日（金） 14：30～16：40 寝屋川キャンパス J号館 J-414
” 教育プログラム「タクナル」を用いた授業の見学会”
講師：株式会社リアセック
参加者：14名

2021年12月 9日（木） 15：30～16：20 Google Meetによるオンライン
” 大学・学部・学科3ポリシーの見直しについて ～教育3方針WG報告～”
登壇者：柴垣 佳明 氏（学務部長・通信工学科 教授）
参加者：135名

2022年 2月24日（木） 14：30～16：30 Google Meetによるオンライン
” 学内教育実践事例報告② 2021年度大阪電気通信大学 リメディアル教育実践報告”
報告者：各学科 リメディアル教育担当教員
参加者：131名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

大学教員としての教育法、学生への対応の仕方などをFD研修会にて実施した。日常的には、FD教員による授業コンサルティングの形で、教員からの授業に関する個別相談に応じている。また、学生からの授業評価へのフィードバックに、授業期間内に「授業改善プラン」を教員自らが記述し公開することで、受講学生に対しフィードバックをかけるとともに学生との双方向授業を展開し、授業改善の取組の1つとしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 実施有。 前期・後期の授業終了時期

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ ポータルサイトで開示

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

(5月1日現在の委員名簿も添付してください。委員に変更がある場合は、その内容と各区分を踏まえた委員構成であることを説明してください。併せて、別途委員名簿を変更内容が分かるよう加筆の上、提出してください。)
該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙の通り

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表予定

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・2027年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受審予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和4年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。

(別紙)

[設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見]

総合情報学研究科総合情報学専攻(博士後期課程)は、総合情報学部総合情報学研究科総合情報学専攻(博士前期課程)を基礎とし、その専門性をさらに深く探求し、国際的なレベルまで研究を進めることを可能にするために設置した。

この課程では、デジタルゲーム・ゲーム&メディア・情報の垣根を超えた国際的で卓越した、いわゆる情報学の研究プログラムを用意している。現在、新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、2020年度から双方向オンライン遠隔指導の可能性を探るよう通達が文部科学省から出ていたが、この指導に沿って全く支障なく遠隔ゼミナールを実施してきた。現在は、面接指導と合わせたハイブリッドな教育研究体制をとっている。現在においては、ハードウェアを中心としたシステムの構築や評価の実験は研究室や外部施設(病院や介護センター)、一方、社会人博士後期課程学生と本学教員や博士前期課程学生および学部学生でソフトウェアを遠隔で共同開発しており、もちろん本学以外の関係者が一堂に集うセミナーも遠隔で実施している。以上のことから、博士課程の共同教育研究活動はコロナ前よりも効率が向上している。

(1) 初年次教育

一昨年度(2020年度)に受け入れた2名の新生(看護系大学教員)は、それからの2年間はほぼ遠隔での指導となり、大学の研究室、および外部施設(病院や介護センター)でのデータ取得や実験には極めて不便をきたした。しかし、この博士後期3年生達はどちらも社会人(看護系大学教員)であり、極めて短時間でデジタルトランスフォーメーション(DX)の要領に慣れ、病院や介護センター、および大学の研究室でも密にならないように回数を絞って実験し、所定の研究・実験データを国際学術論文(例えば、Jumpei Matsuura, et al, "Changes in the Perception of Postoperative Delirium Before and After a Simulated Experience of Postoperative Delirium in Nursing Students," International Journal of Bioinformatics and Neuroscience (JBINS), Applied Science and Computer Science Publication, e-ISSN: 2432-5422, p-ISSN: 2188-8116, Vol.7, Issue 2, pp: 321-327, 12-31-2021. など)や和文原著論文(例えば、松浦純平、他, "VR・HMDによる看護学生教育用術後せん妄体感システムの構築," 電気学会論文誌C(電子・情報・システム部門誌), Vol. 142, No. 5, 2022-5. など)に多数執筆してきた。これにより、一名は課程博士として学位取得の

目途が立ちつつある。もう一名も、既に採録された国際学術論文 (Michiru Mizoguchi, et al., "Selection and Evaluation of Color/Depth Camera for Imaging Surgical Stoma," In: Kurosu M. (eds) Human-Computer Interaction. Interaction Techniques and Novel Applications. HCII 2021. Lecture Notes in Computer Science, vol.12763. Springer International Publishing, https://doi.org/10.1007/978-3-030-78465-2_43, pp.601-614, 2021.) に続く論文を現在2本ほど執筆中であり、それほど遅延なく博士学位取得の目途の立つと考えている。

また、昨年度 (2021 年度) に受け入れた1名の社会人学生 (会社 CEO) は、2021 年に発表予定であったが国際会議が新型コロナウイルス感染症の影響で中止になるなど、少なからず感染症の影響を受けたが、2021 年末にオンラインによる AI を用いた社内教育についての論文を投稿した。さらに現在、組込みソフトウェア関係の論文も準備中であり、まもなく投稿予定である。このようなことから、こちらと比較的順調に教育研究が進んでいるものと思っている。

また今年度 (2022 年度)、新たに1名の新生を受け入れた。今年度は大学で面接より研究指導することになっており、昨年度より培ったデジタルトランスフォーメーション (DX) での指導も併用できることから、昨年度以上の進展を期待している。今後、ハイブリッドで研究を進めるというニューノーマルが実社会でも常態化してくるが、学生もそれに対して技術的にも経験的にも自信を深めたようである。

(2) 学修成果

総合情報学研究科総合情報学専攻 (博士後期課程) は、昨年度からスタートしたので、まだ修了生を輩出しておらず、実質的な学修成果の評価はこれからである。これまでに受け入れた学生は、新型コロナウイルス感染症の蔓延による遠隔指導下でも、適切に単位を取得し多くの学術論文を発表している。このことから、一昨年度 (2020 年度) に受け入れた2人の社会人学生のうちの一人は今年度中の学位取得 (満期取得) に目途が立ちつつあり、もう一人もそれほど遅れることなく学位の取得 (満期退学後に早期取得) が可能な状況である。これらのことから、現在のところ感染症の影響を非常に色濃く受けた2年間ではあったが、学生の教育研究成果は順調に生み出されているものと考えている。

○教育開発推進センター規則

平成20年7月8日

制定

最近改正 令和元年9月3日

第1条 この規則は、大阪電気通信大学学則第3条の4の規定に基づき教育開発推進センター（以下「センター」という。）の組織及び運営等に関し、必要な事項を定める。

第2条 センターは、学務部の下に置き、本学における教育力の向上を目的として、別に定める教育開発推進センターミッションステートメント(以下「ミッションステートメント」という。)に即して業務を行い、その活動を定期的に点検評価する。

第3条 センターにセンター長をおく。

2 センター長は、運営会議の意見を参酌し、学長が任命する。

3 任期は2年以内とし、再任を妨げない。

第4条 センターに教育開発推進センター運営委員会(以下「運営委員会」という。)をおき、教育開発推進センターの業務全般に関わる事項を審議する。

2 運営委員会は、以下の各号をもって組織する。

- (1) 学長
- (2) 副学長
- (3) 教育開発推進センター長
- (4) 各学部長
- (5) 共通教育機構長
- (6) 学務部長
- (7) 本学職員の中から学長が任命した若干名

3 運営委員会の業務は、以下のとおりとする。

- (1) 決定事項のうち、大学として実施すべき重要事項について、学長の承認を経て実施に移す。
- (2) 前号に定める以外の決定事項や報告事項について、運営会議に報告する。
- (3) 大学でのミッションステートメントの実施状況について適宜監査し、進行を促進する。

第5条 センター内に部会をおく。

2 部会内に目的ごとに作業委員会(以下「WG」という。)をおくことができる。

3 部会は、センター長が招集して議長となる。

4 部会委員は、センター長の推薦に基づき、学長が任命する。

第6条 部会及びWGは、運営委員会で決定されたミッションステートメントにしたがってその任務を遂行し、活動状況について運営委員会に報告し、重要な決定事項は運営委員会に諮る。

2 部会及びWGの活動は、運営委員会においてミッションステートメントに照らして点検評価する。

第7条 この規則の改廃は、教授会での意見を参酌し、運営会議の審議を経て学長が理事長に上程し、常任理事会での審議を経て理事長が決裁する。

附 則

1 この規則は、平成20年7月8日より施行する。

2 教育研究センター規則(平成8年4月1日制定)は、廃止する。

附 則

この規則は、平成22年10月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成25年11月12日より施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成28年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成30年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、平成30年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、2019年4月1日より施行する。

附 則

この規則は、2019年10月1日から施行する。

○教育開発推進センターミッションステートメント

2010-07-29

教育開発推進センターは以下のことをお約束します。

1. 教育開発推進センター規則にのっとり当センターは活動します。
2. 当センターは、本学における教育力の向上を目的として、以下の諸活動を責任をもって行います。
 - (1) a.全学的FD(faculty development), SD(staff development)活動の実施, 推進
b.部局ごとのFD, SD活動の支援
 - (2) 学修時間・教育の成果等に関する情報の収集・分析 (IR)
 - (3) 教育改善に関わる先進事例情報の収集と学内への紹介・教育改善に関する研究
 - (4) 教員情報データベースの維持
 - (5) 教育改善のための各種競争的資金についての情報収集と学内への情報提供・申請手続きの支援・事務
 - (6) 情報公開と点検評価
3. これらの活動を学内の叡智を集めて実施するため、適正規模の委員会を設置し、実効のあがる議論を行い、センター運営に反映する。
具体的にはセンター運営委員会は、学長、教育開発推進センター長、各学部から1名、教育開発推進部から4名以内の計11名以内で構成する。
4. 他大学との連携によるFD, SDにも積極的に参加する。
5. 本学の優れた実践を学外にも積極的に情報発信する。
6. センター関係者は上記諸活動を誠実に最善の努力を払って行う。

附 則

このミッションステートメントは、平成22年7月29日から施行する。

附 則

このミッションステートメントは、平成25年9月6日から施行する。